

研究教育 事業部

研究教育 事業部			報告会 令和6年3月28日(水) 情報共有メール
			役員会 1回
研修会	月 日	場 所	内 容
全国的な活動 (公益社団法人日本栄養士会主催)	2月4日 10:20~ 17:00	配信方法 ライブ配信 (Web 会議システム Zoom)	<p>「2023年度研究教育職域管理栄養士・栄養士リーダー育成のための全国リーダー研修会」へ鈴木(米沢栄養大学)が出席し、後日メールにて以下の内容を情報共有した。</p> <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「栄養学の教育・研究におけるリーダーのあり方」 (公社) 日本栄養士会会長 中村丁次 2. 2023年度事業報告について 3. 2024年度事業計画について 4. 職域理事選任決議分野候補者および事業推進委員会委員選出について 5. ブロック別協議 テーマ:「養成校における研究教育環境の整備について」 東北ブロックでは主に以下について協議した。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 管理栄養士・栄養士養成教育の現状と今後・臨地実習校外実習の実情について <ul style="list-style-type: none"> ・臨床現場での実習時間が短く、病院によって実習内容がかなり異なる。今後、管理栄養士・栄養士の質の確保に向けて、養成校の教員と実習指導者との連携強化が不可欠である。 ・臨地実習は実践の能力を身に付ける重要な科目であり、事前指導(教育)では、実習へ向けて知識の整理が必要である。 ・配慮が必要な学生が増えている。配慮の内容や程度は事前に実習先への確認が必要である。 2) 研究教育職域が今後取り組むべき事項 <ul style="list-style-type: none"> ・大学教員が学生、栄養士会会員を対象に、学会発表の仕方などを継続的にフォローするのはどうか。東北ブロック内で講師を招いて研究発表の仕方などを行っている県栄養士会もある。今後、東北ブロック協働で現場の人や学生が研究発表できるような環境づくりをしていくことも考えてはどうか。 6. 各地域ブロックで発表 ブロック別協議の後、養成校における研究教育環境の整備について各地域ブロックで発表を行った。
その他 1. 事業 なし 2. 関係会議 山形県栄養士会理事会 3回			